

バイク王 バイクライフ研究所 『リセール・プライス』ランキングを発表 『カワサキ・ZRX1200 DAEG』が3連覇！

対象期間 2017年3月～5月

バイクライフの楽しさやバイク市場の動向を広く社会に発信することを目的に活動を行う『バイク王 バイクライフ研究所』（所在地：東京都港区、所長：澤篤史）は、2017年3月～5月の期間を対象に、『再び売却した際、高値の付くバイク』＝『“リセール・プライス”の高いバイク』上位10車種を発表します。

『“リセール・プライス”の高いバイク』は、需要の高いバイク、つまり『人気のあるバイク』と言い換えることもできます。21回目となる今回は「カワサキ・ZRX1200 DAEG」が3連覇を達成しました。

◇トップテンの常連
『カワサキ・ZRX1200 DAEG』
が3連覇！

◇国内仕様が発売された『カワサキ・Z1000
ABS』が早くもランクイン

◇大型車種が半数を席卷



※本プレスリリースに関する画像が必要な際は下記連絡先までご一報ください。

プレスリリースに関するお問い合わせ先

■株式会社バイク王&カンパニー

バイク王 バイクライフ研究所

担当：今井、萩原

TEL 03-6803-8866

E-mail bikelife_lab@8190.co.jp

東京都港区海岸 3-9-15 LOOP-X 13F

■株式会社スクランブル

プランニング局

担当：高津、池田

TEL 03-6894-6895 / FAX 03-5413-3050

E-mail bike-o@scramble.jp

東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-23-5 JPR 千駄ヶ谷ビル

■ 総合ランキング

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	カワサキ・ZRX1200 DAEG	83.1Pt
2	カワサキ・W800	81.7Pt
3	カワサキ・Z1000 ABS	79.1Pt
4	ヤマハ・XSR900	78.1Pt
5	ホンダ・CB400 SUPERFOUR	75.0Pt
6	ホンダ・CRF1000L	73.3Pt
7	カワサキ・ESTRELLA	72.4Pt
8	ホンダ・ジョルノ	72.0Pt
9	カワサキ・Ninja 250	71.7Pt
10	ヤマハ・YZF-R25	70.8Pt

◇対象期間 2017年3月～5月

21回目となる『リセール・プライス』ランキングは、『カワサキ・ZRX1200 DAEG』が2位に1.4pt差を付け首位に輝きました。

今回のランキングには、カワサキ・Z1000 ABSが初めてランクインしました。同車種は2017年4月より国内仕様の販売が開始された、Zシリーズのフラッグシップモデルです。他モデルとは一線を画す独特なフロントマスクや、逆輸入仕様とほぼ同等の141PSを発生させるパワフルなエンジンを備えており、ランキング初登場ながら総合3位という好成績を収めました。カワサキでは同車種の他にも、Ninja1000やNinja650/Z650など、これまで海外仕様のみだった車種の国内仕様が発売されており、今後のランキングへの影響が注目されます。

また、今回のランキングでは、400ccを超える大型車種が多くランクインしました。バイク王の販売データを参考にした分析によると、全排気量のうち同クラスの占める割合が6、7月に比較的高くなります。中古車市場でもこの季節は高排気量車の需要が高まり、リセール・プライスが上昇したものと推察されます。

各メーカーより新型モデルが続々と発表される中、今後のランキングにも影響を与えるのでしょうか。

引き続き、『リセール・プライス』ランキングにご注目ください。

■ 排気量別ランキング上位5位

・原付一種・二種

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ホンダ・ジョルノ	72.0Pt
2	ホンダ・リトルカブ	70.4Pt
3	ホンダ・クロスカブ	69.7Pt
4	カワサキ・Z125 PRO	68.6Pt
5	ホンダ・PCX	67.7Pt

・軽二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	カワサキ・ESTRELLA	72.4Pt
2	カワサキ・Ninja 250	71.7Pt
3	ヤマハ・YZF-R25	70.8Pt
4	ヤマハ・SEROW250	69.8Pt
4	ヤマハ・YZF-R25 ABS	69.8Pt

・ 中型二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ホンダ・CB400 SUPERFOUR	75.0Pt
2	カワサキ・Ninja 400	70.2Pt
3	ホンダ・CB400 SUPERFOUR ABS	69.8Pt
4	ホンダ・CBR400R ABS	67.9Pt
5	ヤマハ・SR400	63.7Pt

・ 大型二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	カワサキ・ZR1200 DAEG	83.1Pt
2	カワサキ・W800	81.7Pt
3	カワサキ・Z1000 ABS	79.1Pt
4	ヤマハ・XSR900	78.1Pt
5	ホンダ・CRF1000L	73.3Pt

■ 『リセール・プライス』とは

バイクを再び売却(=リセール)するときのプライス(=価格)を指します。

2017年7月現在、新車で購入が可能なバイクを対象とし、オークションで売却した際の落札金額の平均値と新車販売価格を基に『リセール・プライス』をポイント化。ポイント数が高いほど、『リセール・プライス』が高いと想定できます。

本指標は、年間 10.3 万台(2016年11月期)の取り扱い台数を誇る『バイク王』のデータを基に、バイク王 バイクライフ研究所が独自に集計したものであり、バイクユーザーが新車あるいは中古バイクを購入する際の参考情報として活用されることを目的としています。

■ 算定基準

- ・ 国内主要4メーカーが、国内で販売しているバイク(2017年7月現在・逆輸入車を除く)
- ・ 新車販売価格は2017年7月現在の価格を基準。カラー等により価格が複数ある場合は、最安値を基準に算定

【バイク王 バイクライフ研究所について】

バイク王 バイクライフ研究所は、『バイクライフの生涯パートナー』をブランドビジョンに掲げる株式会社バイク王&カンパニーが、バイクライフの楽しさやバイク市場の動向などを広く社会に発信することを目的に、2011年8月に発足した情報発信組織です。

昨今、バイク業界は新車の販売不振や趣味嗜好性の多様化による若年層のバイク離れなど、明るいニュースに乏しい状況が続いています。

バイク王 バイクライフ研究所は、中立的な立場を意識し、専門家やユーザーの方からの意見・データを収集・集積するとともにインタラクティブな情報交換を行い、その結果をユーザーやマスメディアに向け、積極的に発信することで、バイク業界の活性化に寄与していきたいと考えています。

バイク王 バイクライフ研究所



バイク王 バイクライフ研究所
所長 澤篤史